

第3次文京区役所地球温暖化対策実行計画 2020(令和2)年度 実績報告書

二酸化炭素排出量の削減状況（１）

2020(令和２)年度における区のエネルギー使用による二酸化炭素排出量は11,300t-CO₂となり、前年度と比較して4,429t-CO₂増加し、基準年である2013(平成25)年度の排出量と比較して38.6%の減少となりました。

二酸化炭素排出量が前年度に比べ減少している主な理由としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした区有施設の利用時間の縮小や、事業の中止などにより電気・ガスともに使用量が前年度より減少していることと、より二酸化炭素排出係数の低い電力会社へと切替えを行ったことなどが挙げられます。

二酸化炭素排出量の推移

年度 二酸化炭素排出量削減状況		基準年度 2013 (平成25)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (令和元)	2020 (令和２)	目標年度 2024 (令和６)
原単位（100㎡あたり排出量）	t-CO ₂	4.69	4.04	4.17	3.93	2.83	3.99
二酸化炭素排出量	t-CO ₂	18,402	15,853	16,563	15,729	11,330	15,666
対象となる区有施設の総延床面積	㎡	392,638	392,847	397,405	400,032	398,667	392,638
指数〔基準年度を100とした場合〕		100	86	89	84	60	85

※１：第３次文京区役所地球温暖化対策実行計画では、2024(令和６)年度までに原単位あたりの排出量15%削減を目標としています。

※２：総延床面積の数値の増加は、建物の改修、建替えやエネルギー管理対象施設の新規追加によるものです。

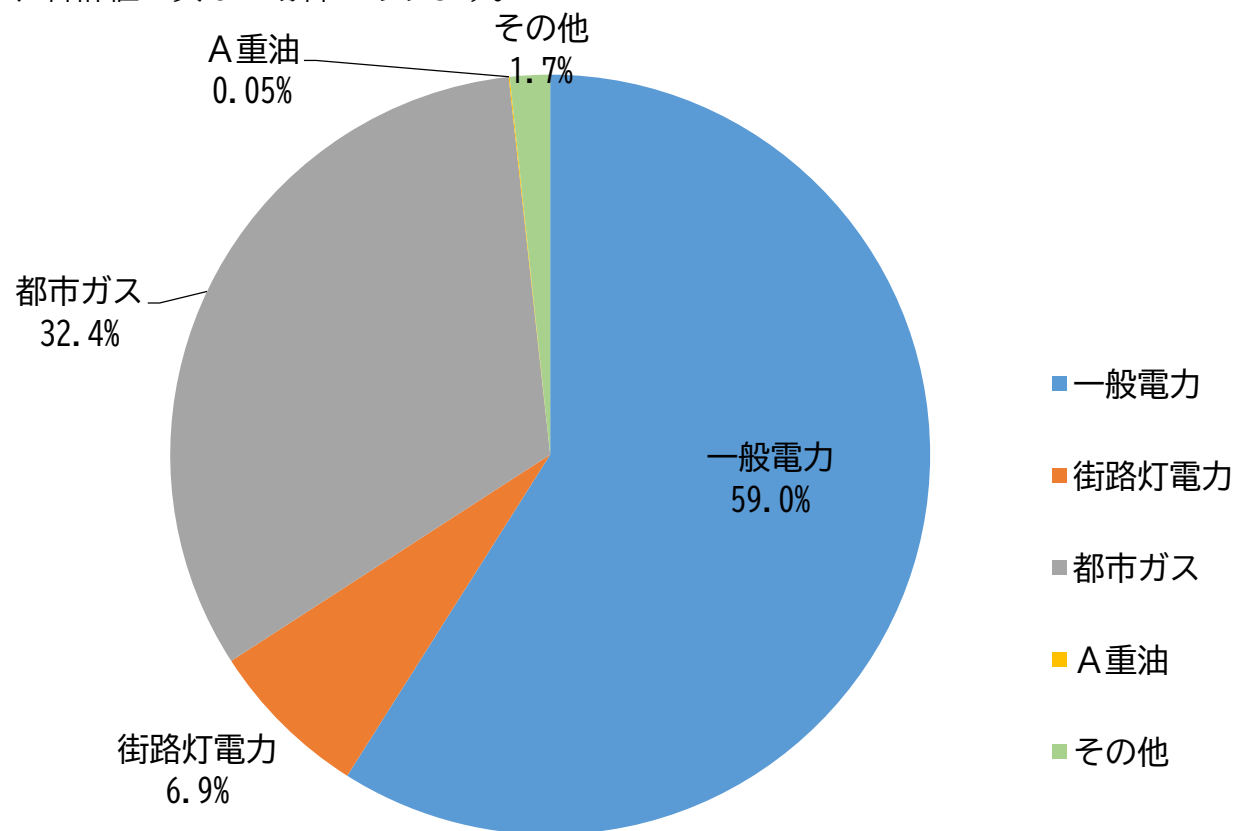
※３：目標年度の二酸化炭素排出量は、あくまで基準年度と延床面積が変わらないものとした場合の数値です。

二酸化炭素排出量の削減状況（２）

2021(令和3)年度における二酸化炭素排出量の使用形態別内訳

		合計値	一般電力	街路灯電力	都市ガス	A重油	その他
二酸化炭素排出量	t-CO ₂	11,300	6,665	779	3,661	3	192
内訳	%	100	59.0	6.9	32.4	0.03	1.7

※1：端数処理のため、合計値が異なる場合があります。



エネルギー使用量等の削減状況（１）

１．電気使用量の削減状況

電気使用量については、2019(令和元)年度と比較して5.4%増加となりました。
引き続き健康安全面などを考慮に入れながら節電対策に取り組んでいきます。

電気使用量の推移

		基準年度 2013 (平成25)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (令和元)	2020 (令和２)	目標年度 2024 (令和６)
使用量（区有施設全体）	kWh	30,557,219	29,389,785	29,864,946	29,232,850	27,658,992	25,973,636
	指数	100	96	98	96	91	85
二酸化炭素排出量	t-CO ₂	14,110	11,976	12,329	11,514	7,444	11,994
	指数	100	85	87	82	53	85

２．都市ガス使用量の削減状況

都市ガス使用量については、2019(令和元)年度と比較して6.6%減少となりました。

都市ガス使用量の推移

		基準年度 2013 (平成25)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (令和元)	2020 (令和２)	目標年度 2024 (令和６)
使用量（区有施設全体）	m ³	1,832,105	1,579,516	1,745,076	1,742,451	1,627,243	1,557,289
	指数	100	86	95	96	91	85
二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4,104	3,554	3,926	3,921	3,661	3,488
	指数	100	87	95	96	89	85

エネルギー使用量等の削減状況（２）

３．水道使用量の削減状況

水道使用量については、2019(令和元)年度と比較して23.9%減少となりました。
各施設の使用形態や季節に関わらず、全庁的に節水の徹底が定着しています。

水道使用量の推移

		基準年度 2013 (平成25)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (令和元)	2020 (令和２)	目標年度 2024 (令和６)
使用量（区有施設全体）	kWh	505,953	462,135	478,662	460,709	350,559	455,358
	指数	100	91	95	91	69	90

４．廃棄物排出量の削減状況

2019(令和元)年度と比較して、文京シビックセンターでは、可燃物は29.6%削減、不燃物は13.5%削減となりました。
また、文京シビックセンター以外の施設（有料ごみ処理券等を使用し、廃棄物排出量を管理）では、1.5%削減となりました。

廃棄物排出量の推移

			基準年度 2019 (令和元)	2020 (令和2)	目標年度 2024 (令和6)
文京シビックセン ター	可燃物	kg	44,150	31,100	39,892
		指数	100	70	90
	不燃物	kg	36,630	31,700	33,097
		指数	100	87	90
文京シビックセンター以外の区有 施設		kl	3,247	3,198	2,934
		指数	100	98	90

エネルギー使用量等の削減状況（３）

５．紙類購入量の削減状況

紙類購入量については、2019(令和元)年度と比較して4.4%削減となりました。
引き続き、コピー用紙等の裏面活用などにより削減に努めます。

水道使用量の推移

		基準年度 2013 (平成25)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (令和元)	2020 (令和２)	目標年度 2024 (令和６)
購入量（区有施設全体）	千枚	30,371	33,458	34,616	38,639	36,956	24,297
	指数	100	110	114	127	122	80

６．カーボン・オフセットの取組状況

文京区では、第３次文京区役所地球温暖化対策実行計画に掲げる二酸化炭素の削減目標達成を目指すとともに、他自治体における森林整備に係る取組を支援するため、包括連携に関する覚書を締結している熊本県が販売するオフセット・クレジット（J-VER）※を400t-CO₂購入しました。

これにより、2020(令和２)年度における区のエネルギー使用による二酸化炭素排出量11,300t-CO₂から購入分の400t-CO₂をオフセットしました。

オフセット・クレジットによる二酸化炭素排出量排出量のオフセット

		オフセット前	オフセット後
二酸化炭素排出量	t-CO ₂	11,300	10,900
原単位（100㎡あたり排出量）	t-CO ₂	2.83	2.73

※１：カーボン・オフセットの取組を普及・促進するため、国内のプロジェクトにおいて実現された温室効果ガス排出削減・吸収量を自主的なカーボン・オフセットに用いられるクレジット（J-VER）として認証・発行する制度。